

令和3年度 第一中学校区地域包括支援センター事業実施計画書

資料4-1

	実施方針	目 標	具体的な取り組み
必 須 項 目		地域住民が主体的に介護予防に取り組めるよう支援します。	<ul style="list-style-type: none"> しまトレ・居場所の紹介・実施：3ヶ所（伊太、向谷 等） 昨年度実施した地域活動スタッフとの情報交換で聞き取った内容をもとに課題を分析し、小地域ケア会議につなげる。
	高齢者を地域で支える体制づくり	多死社会を迎える中でどう生きるかを考える機会をもてるよう支援します。	<ul style="list-style-type: none"> もしバナゲームの体験を通して、人生の最期に大切にしたいこと、思いを知る機会を持つ。 もしバナゲーム開催：年5回（高齢者団体参加者、スタッフ等）
		高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための体制を整えます。	<ul style="list-style-type: none"> 個別課題解決や地域課題について地域ケア会議を開催する。 テーマ：個別地域ケア会議 ①「8050」問題 ②介護者支援 テーマ：小地域ケア会議 ①「8050」問題 ②認知症高齢者 ③地域資源について ④地域とオンラインでつながる 個別地域ケア会議：年7回 小地域ケア会議：年4回 参加者：地域住民・行政・障害・社協・民生委員・介護保険事業所等
	認知症施策の推進	認知症になっても、最後まで住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域づくりを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代や職域サポーターを養成する。 認知症サポーター養成講座の開催：4回（神座小学校、放課後児童クラブ、こども食堂、企業） みまもりあいアプリを活用して検索模擬訓練を実施する。 検索模擬訓練の実施：年1回（稲荷町自治会） 参加者：自治会・地域住民・行政・民生委員・ケアマネ等 チームオレンジ活動を推進する。 既存のオレンジカフェの定期訪問、交流会 オレンジカフェ新設：1ヶ所 チームオレンジ連絡会：年2回
			<ul style="list-style-type: none"> 地域の企業に地域課題を発信し、高齢者の見守り体制の強化を図る。 第一・北地区高齢者見守りあんしんネットワーク通信の配布：年3回（4・8・12月） 配布先：ネットワーク参加事業所

選 択 項 目	多職種、多機関とのネットワーク構築	地域包括ケアシステムの推進に向けて関係機関と連携を図り、チームで高齢者を支援していきます。	ケアを提供する専門職の会を定期的を開催する。	<p>ケアカフェ：年4回（6・8・11・2月） 内容：企画当番を決めて開催する。6月はケアマネが当番。8月は包括で、事例検討会を行う。11月は介護事業所。2月は医療介護連携室。 参加者：医師、薬剤師、ケアマネ、介護事業所、医師会、行政等</p>
			事例を通して新たな連携の仕組みづくりについての意見交換を行う。	<p>高齢・障害・困窮ネットワーク会議：年4回（6・8・12・2月） 内容：各部署からの事例検討、連携の仕組みづくりの意見交換 参加者：包括ケア推進課、福祉課、障害相談機関、社会福祉協議会、包括</p>
	介護支援専門員に対する連携体制づくりと実践力向上支援	介護支援専門員が他部署・他機関と協働し、ケアマネジメント力向上を図ることで、適切な高齢者支援が実施できるよう支援します。	介護支援専門員のケアマネジメント力向上を図るための連絡会や勉強会を開催する。	<p>①ケアマネ連絡会開催：年3回（7・9・1月） テーマ：①予防プランについて、②虐待対応について、③医療について</p> <p>②困難事例検討会開催：年2回（8・12月）</p> <p>③ケアマネ向け勉強会開催：年1回（10月） テーマ：意思決定支援について</p>